

- 1 単元名 井野から発信！ストップ・ザ・地球温暖化！  
教材名「未来に生かす自然のエネルギー」（東京書籍6年上）
- 2 付けたい力 文章や資料を関係付けて読む力（C 読むこと ウ 説明的な文章の解釈）

### 3 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として「地球温暖化防止ウェブページを発信する。」ことを位置付けた。

自分が相手に伝えたいことを、説得力をもって伝えるには、書き言葉や話し言葉だけではない、写真やグラフなどの資料の存在が大きい。ウェブページを作成するためには、伝えたい内容を説得させるのにふさわしい資料を選び、その資料と関係付けた文章を合わせる、さらに、資料と資料を関係付けて、自分の主張をより強調することが必要である。地球温暖化の危機を人々に訴え、温暖化の防止に貢献したいという児童の願いを実現するためには、パンフレットやポスターより多くの人に広く発信できる「ウェブページ」が有効である。本単元で付けたい力「文章や資料を関係付けて読む力」を養い、児童の「目的意識」「相手意識」を叶えるのに適した言語活動であると考えた。

### 4 単元について

#### (1) 児童観（在籍\*人）

<実態調査1>前説明的文章教材「イースター島にはなぜ森林がないのか」の学習より

項 目	達成	努力を要する
複数の具体例を関係付けて、筆者の主張をとらえることができる。	*人(*%)	*人(*%)

<実態調査2>全国学力・学習状況調査 過去問題より

項 目	正答	誤答
文章とグラフにまとめられた事実を関係付けて読むことができる (平成19年度B2<新聞記事を書くー環境問題>)	*人(*%)	*人(*%)
必要な情報を関係付けて読み、理由を明確にして説明することができる。 (平成22年度B4<目覚まし時計>)	*人(*%)	*人(*%)

本学級の児童は、6学年5月に学習した説明的文章教材「イースター島にはなぜ森林がないのか」で筆者の主張や、主張の根拠として挙げられた具体例を読み取り、それに対する自分の考えを「筆者鷲谷さんへの手紙としてまとめる」という言語活動を行った。

この学習を通して、文章の中で筆者の意見が書かれている文、また、その意見の根拠となる具体例が示されている文などを読み分ける力が付いた。しかし、複数挙げられた具体例を結び付けて、筆者の主張をとらえたり、筆者の主張と自分の既有知識や経験とを結び付けて自分の考えを深めたりすることがまだ十分とは言えなかった。

また、全国学力・学習状況調査の過去問題のうち、「読むこと」の領域で全国的に正答率の低かった問題について調査したところ、「情報を関係付けて読む」ことに本学級の児童も課題があることが明らかになった。

本単元を通して、文章と文章、文章と資料を「関係付けて読む」とはどういう読みなのかを、具体的に示し、確かな力として習得させるとともに、関係付けて読み取ったことを自分の考えの形成にしっかり生かせるような学習が必要である。

#### (2) 教材観

本単元は、学習指導要領の第5学年及び第6学年の「C 読むこと」の指導事項イ「目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。」、及びウ「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。」との関連に重点を置いた。

本単元の中心教材「未来に生かす自然のエネルギー」は、現在地球レベルで注目されているエネルギー問題が取り上げられている。記録的な猛暑、豪雨、落雷、竜巻など、この夏の異常気象を目の当たりにしてきた子供たちにとっては、地球温暖化の防止を真剣に考えたい格好の内容であると捉える。

本教材の大きな特徴は、筆者の主張の根拠を具体化するものとして、グラフや写真といった非連続型テキストが取り入れられていることである。それらの効果を十分に押さえながら、文章と資料、また、

資料と資料を関係付けて読み、そこからわかる筆者の主張を捉える。そして、これまでの自分の知識や経験と関係付けて、自分の考えを形成することができる学習が展開できる。本単元で付けたい力「文章や資料を関係付けて読む力」を養うために最適な教材であると考え。

### (3) 指導観

指導に当たっては、まず第一次で「このままじゃ、地球が危ない！」という地球温暖化に対する危機感を強烈に高める。事前に収集しておいた、地球温暖化の影響に関する新聞記事やインターネット、雑誌などを提示しながら、子供たちが既に持っている知識や経験と絡め「ウェブマップ」を用いて膨らませる。そこから、目的意識「地球温暖化の防止を訴えたい。」と相手意識「できるだけ多くの日本人に伝えたい。」を強く抱けるように導く。そして単元を貫く言語活動である「地球温暖化ウェブページを発信する。」に、どの児童も、単元の最後まで目を輝かせて取り組めるように仕組む。

単元のスタートと並行して、司書教諭と連携を取り、地球温暖化に関する資料を井野小図書館や取手市立図書館から集める。教室に「地球温暖化コーナー」を設置し、学習と並行していつでも情報収集のための読書ができる環境を整えておく。

第二次では、教科書教材「未来に生かす自然のエネルギー」で、ウェブページを発信するために必要な、文章と資料を関係付けて読む力を習得する。

まず、取り上げられた資料と筆者の主張の関係を的確に読み取るために、文章の構成を押さえる。説明的文章の3構成「序論・本論・結論」の学習語彙を再確認し、取り上げられたグラフや地図は本論部に関係する資料であることを押さえる。次に、グラフや地図の効果をつかむために、文章だけで書かれた本文と、グラフや地図が入った本文とを読み比べる。2つを読み比べる学習を通して、グラフや地図が入るとどんな効果があるか、それがはっきり表れる文章はどこか、文章と資料を関係付けて読む力を養うようにする。関係付けるという思考を可視化するための「サイドラインを引く。」「囲む。」「色分けする。」「矢印で結ぶ。」などの基本的な技法をしっかりと習得させたい。

第三次では、第二次で習得した力を活用して「地球温暖化防止ウェブページ」を作成する。

第一次で「地球温暖化ウェブマップ」を書いた際、自分が一番興味をもったテーマについて、資料と文章を関係付けてウェブページを作成する。友達との「交流タイム」を通して、資料と文章がきちんと関係付けられているか、関係付けられていることにより説得力があるか、などの観点で「アドバイスし合うための交流」を行うとともに、自分とは違うテーマで取り組んだ友達のページ内容を聞くことにより、地球温暖化に関する自分の考えを深める「考えを深めるための交流」も行い、自分の考えをしっかりと形成させたい。そして、自分の作成したウェブページに、自信と熱い思いを込めて発信できるように支援したい。

単元の終わりには、ウェブページを見ての返信に触れ、自分の学習が地球温暖化防止を訴えるために役に立ったという満足感を十分に味わうとともに、本単元で身に付いた「資料と文章を関係付ける力」を使って、自分の訴えたいことが、出会ったこともない遠くの友達に、しっかりと伝えることができたということを認識し、今後、様々な場面で身に付けた力を生かしていこうという意欲につなげていきたい。

## 5 単元の目標

- 地球温暖化の防止をウェブページで多くの人に訴えたいという願いをもち、そのために複数の文章や資料を関係付けて読もうとする。 (関心・意欲・態度)
- 地球温暖化の防止を訴えるために、必要な情報を集め、比べ読みや摘読など効果的な読み方を用いることができる。 (読むことイ)
- 文章と資料、資料と資料を関係付けて読み、自分の考えを明確にもつことができる (読むことウ)
- 文章と資料を的確に関係付けるための語句について理解することができる。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

## 6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・地球温暖化の防止をウェブページで多くの人に訴えたいという願いをもち、そのために複数の文章や資料を関係付けて読もうとしている。	・地球温暖化の防止を訴えるために、必要な情報を集め、比べ読みや摘読など効果的な読み方を用いている。 ・文章と資料、資料と資料を関係付けて読み、自分の考えを明確にもっている。	・文章と資料を的確に関係付けるための語句について理解している。

## 7 単元の指導計画（9時間扱い）本時は7時間目

- 第一次 「地球温暖化防止ウェブページを発信する。」という単元のゴールをつかみ、学習計画を立てる。・・・1時間
- 第二次 教材「未来に生かす自然のエネルギー」を読み、文章と資料、資料と資料を関係付けて読むための方法を学ぶ。・・・4時間
- 第三次 「地球温暖化防止ウェブページ」を作成し、地球温暖化を防止するためのメッセージを発信する。・・・4時間

時	主な学習活動	主な評価
1	自分が決めたテーマに合う資料を選び、資料と文章を関係付けてウェブページイメージ図を作成する。	・自分のテーマに合う情報を集め、効果的な読み方を用いている。 (読む能力)
②	友達とイメージ図を読み合い、アドバイスし合う。 (アドバイスしあうための交流)	・友達のウェブページの資料と伝えたい内容を関係付けて読んでいる。 (読む能力)
3	イメージ図をもとに、ウェブページを完成する。 ※総合的な学習の時間2時間と関連	・文章と資料を的確に関係付けるための語句について理解し、文章の中で用いている。 (言語に関する知識・理解・技能)
4	テーマの違う友達とウェブページを読み合い自分の考えを深める。 (考えを深めるための交流)	・友達のウェブページを読んで自分の考えと関係付けて考えを深めている。 (読む能力) ・文章と資料を関係付けて読むことの大切さに気づき、今後に生かそうとしている。 (関心・意欲・態度)

※ その後、朝自習「ぐんぐんタイム」の時間を使い、届いた返信メッセージをクラスに紹介し、他者の感想に触れることにより、今回の単元の目的が達成できたかどうか、自分の学びを自己評価する。  
(関心・意欲・態度)

## 8 本時の学習

### (1) 目標

ウェブページイメージ図をもとに友達と交流することを通して、資料と伝えたい内容を関係付けて読むことができる。

### (2) 準備・資料

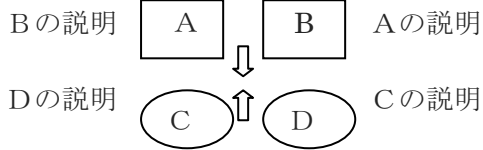
イメージ図、交流アイテム、チェックカード、PC、プロジェクター

### (3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ウェブページ・チェックタイム！ その資料と伝えたいことは、本当に関係付けられているかな？</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時は、全員が「優秀チェックマン」になって、友達が作成したウェブページのイメージ図を、鋭い目でチェックし、すばらしいウェブページが出来上がるようにするという時間であることを告げ、学習意欲を高めるとともに、今日の交流の目的をはっきりさせる</li> <li>・チェックの観点は、「伝えたいことと取り上げた資料が関係付けられているか」であることをしっかり押さえる。</li> <li>・「資料のここと伝えたいことが、関係付けられているね。」「この資料からは、こんなことが言えるんじゃない？」「この資料より、～に関する資料がいいんじゃない？」など、交流に使える言葉（交流アイテム）を例示し、深まりのある交流になるようサポートする。</li> <li>・第1弾交流タイムは、同じテーマを選んだ友達とペアを組み、内容に食い込んだ交流ができるよう、意図的にペアを組んでおく。</li> <li>・交流の内容を充実させるために、友達のイメージ図は</li> </ul>
<p>2 イメージ図をもとに友達と交流する。 【交流タイム1】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;作成者&gt;</p> <p>①選んだ資料の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくはこの資料を選んだんだよ。理由は・・・なことを伝えたかったから。</li> </ul> <p>②一番伝えたいことの説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この二つの資料から、ぼくは～なことを一番伝えたいんだ。どうかな？</li> </ul> <p>&lt;チェックマン&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確かに、この資料のここから・・・ことが伝わってくるね。</li> <li>・この資料よりも、ほかの資料の方がいいんじゃない？</li> </ul> </div>	

3 選んだテーマが違う友達と交流する。

【交流タイム2】



<テーマ1のAさん>

- ・ Bさんの一つ目の資料では・・・なことを伝え、二つ目の資料では～なことを伝えるよ。そして、Bさんはこれらの資料を通して・・・なことを伝えたいそうだよ。
- ・ 二つ目の資料が、はっきり伝わらないかも・・・と話したんだけど、どうかなあ。

<テーマ2のCさん・Dさん>

- ・ 確かに、この資料のここから・・・ことが伝わってくるね。
- ・ とてもインパクトのある資料を選んだね。

4 今日の学びを振り返る。【振り返りタイム】

- ・ ○○さんの～という伝えたいことが、選んだ資料のここに表れていて、すごく説得力があった。
- ・ 友達から、すごくわかりやすい資料を選んでいると言われて、ウェブページを作るのに自信がもてた。
- ・ 伝えたいことと選んだ資料がすこしずれているとアドバイスをもらったので、違う資料を探したい。

5 次時への学習の見通しをもつ。

事前に目を通しておくようにする。

- ・ 交流タイムで話し合ったことは、イメージ図に書き込んでいくようにする。
- ・ 第2段階の交流タイムは、第1段階のペアと、違うテーマである他のペアと合体して4人グループの交流になるように、グループを組む。

- ・ 自分のイメージ図について説明するのではなく、ペアの友達のイメージ図について、違うテーマのC、Dに説明することで、さらに資料と伝えたいことが関係付けられているかを客観的に考えられるようにする。
- ・ 「Show and tell (見せて語る)」のスタイルで、説明できるように、指示する。このスタイルで説明できている児童を賞賛し、周りにも促す。

- ・ 説明を聞く側は、初めてウェブページを見る人の立場に立って、伝えたいことがはっきりと伝わってくるか伝えたいことに関係付けられた資料を選んでいるかなどを観点にして、アドバイスするようにする。

(評) 友達のイメージ図の資料と伝えたい内容に関係付けて読んでいる。【読む能力 (チェックカード)】

- ・ 地球温暖化の防止を強く訴えるために、効果的な資料を選び、資料と資料を関係付けて、伝えたいことを強調できていた友達のイメージ図を紹介したり、友達からのアドバイスを受けて、改善点が見つかった自分のイメージ図を紹介したりして、今日の学びを全体で振り返るようにする。
- ・ 事前に児童が選んだ資料をPCに入力しておき、資料をプロジェクターで映し出す。そこにPCで線を引いたり、囲んだりして関係付けながら紹介できるように環境を整えておく。

- ・ 次の時間は、今日のイメージ図を生かしていよいよウェブページを作ることを知らせ、意欲をつなげて締めくくる。